

2026年3月卒業 芳賀さん(服飾系選択→デザイン系専門学校進学)

私は中学校の職業調べ学習でアパレルバイヤーという職業を知ったことから、服飾に興味を持ちはじめました。将来は自分の好きなことを仕事にしたいと考えていたので、中学3年生の時に進路を考える中で、自分の将来に繋がる学校を考えて川崎高校の生活科学科を選びました。

3年間を通して、専門学科の特色ある授業から知識や技術を得ることができました。中学生までは自分から料理をすることがなかったので、初めての調理実習はとても緊張したのを今でも覚えています。2年生までは食物分野と服飾分野を並行して学習をしていたので、徐々にできることが増えていって専門学科の学生として自信ができました。服飾では洋服・和服の製作があり、全く異なる縫製技法に苦戦しましたが、先生が丁寧に教えてくださったおかげで検定に合格することができました。

3年生の学習で一番印象に残っていることは、テーマ考案から完成まで探究した課題研究の授業です。私は「くらげから着想を得たドレスの考案」というテーマで研究をしました。特に、衣装としての着やすさとモチーフであるくらげの再現という2つの関係の相互について、今までの学習をもとに何度も試作を繰り返し、充実した研究をすることができました。

高校卒業後は、グラフィックデザインの専門学校に進学します。服を作るだけでなく、色づかいや形の見せ方など、もっと広い“デザイン”の世界にも挑戦したいと思うようになったからです。服飾で学んだ経験は全て、表現の土台になっていると感じています。これからは、好きなことを追求し楽しみながら自分らしいデザインを形にできるよう、専門的な技術を身につけていきたいです。